

11月1日(金) 12:35-14:50

セッションチェアマン：松浦 正純(株)FLOSFIA・山崎 治(シャープフロンティアオートモーティブテクノロジー(株))

◆ カーボンリサイクルにおける「はかる」技術



株式会社堀場製作所
エネルギー・環境本部
エネルギー・環境戦略室
室長
池田 輝彦

[講演要旨]

CCUSにおけるCO₂分離や回収、合成燃料製造の実現に求められるガス計測、素材/材料分析、プロセス評価に焦点を当て、カーボンリサイクル社会に貢献するHORIBAの「はかる」技術について解説します。

[講演者プロフィール]

2005年8月 株式会社堀場製作所入社。半導体システム営業部に所属
2019年3月 ドイツHORIBA FuelCon社へ出向、燃料電池、水電解スタックなどの評価装置を提供するグローバルメーカーにInternational Sales Directorとして従事
2023年4月 エネルギー環境室 室長に従事、現在に至る

◆ CO₂を炭素源とするカーボンリサイクル型SiC合成



東北大学
大学院工学研究科
応用化学専攻
助教
福島 潤

[講演要旨]

カーボンリサイクル技術は2050年カーボンニュートラル社会の実現のためのキーテクノロジーである。本講演では、炭素源として二酸化炭素を、シリコン源として太陽電池および半導体製造プロセスから排出されるシリコンスラッジを原料に用い、「マイクロ波燃焼合成」により二酸化炭素資源化に係るエネルギー消費を最小限にしながらカーボンリサイクル型SiCを合成する技術を紹介する。

[講演者プロフィール]

2012年 名古屋大学工学研究科修了博士（工学）、2012年 東北大学工学研究科 助教、現在に至る。電磁波エネルギー応用学会理事、R024委員会学術委員。専門は固体化学、マイクロ波プロセッシング。研究テーマは機能性材料合成、カーボンリサイクル技術開発。

◆ **メタネーション関連(仮題)**



大阪ガス株式会社
エグゼクティブフェロー
エネルギー技術研究所
SOEC メタネーション開発室
統括室長
大西 久男

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

- 【A-1】環境エネルギー総論
- 【A-3】パワーエレクトロニクス